

平成 29 年 9 月 7 日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部  
広報・渉外課

## JICA 課題別研修「周産期医療におけるチーム医療の推進と技術向上」の開催について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究・社会貢献活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学では、平成 29 年 9 月 11 日～9 月 29 日の期間に、ケニア、スーダン、シエラレオネ、カンボジアから 7 名の研修生を受け入れて JICA 研修を行います。研修内容は、宮崎県で展開されている周産期医療に関する地域連携、多職種連携に関する取組の紹介や周産期医療技術、医療安全、感染対策、血液供給体制およびチーム医療の実践に関する講義・演習・視察を行います。これらの研修を通して、自国の周産期医療の向上のための方策を考えて頂きます。

つきましては、貴社の「インフォメーションコーナー・お知らせコーナー」等に掲載して頂くとともに、取材していただきますようお願いいたします。

敬具

## 記

●研修期間：平成 29 年 9 月 11 日～9 月 29 日

## 《今回の研修を象徴する講義・演習》

- ① 「Ice Breaking、母体安全に関する講義、産科出血への対応に関する演習」  
開催日時 9 月 13 日（水） 9：30 ～ 16：00  
場 所 宮崎大学医学部総合教育研究棟 6 階 母性実習室(G602)  
対 象 JICA 研修生 7 名、宮崎大学医学部大学院看護学研究科修士学生 10 名
- ② 「新生児蘇生、妊婦蘇生、吸引分娩に関する講義・演習」  
開催日時 9 月 25 日（月） 10：00 ～ 14：00  
場 所 宮崎大学医学部総合教育研究棟 6 階 母性実習室(G602)  
対 象 JICA 研修生 7 名、宮崎大学医学部大学院看護学研究科修士学生 10 名
- ③ 「日本の母子保健における行政の役割、宮崎県庁福祉保健部表敬訪問」  
開催日時 9 月 27 日（水） 14：00 ～ 16：00  
場 所 宮崎県庁  
対 象 JICA 研修生 7 名

**研修コース名： 周産期医療におけるチーム医療の推進と技術向上のための研修**

**案件概要：**

宮崎県で展開されている周産期医療に関する地域連携、多職種連携に関する取組を包括的に理解し、周産期医療技術の向上・維持に対する取り組みを体験することにより、各国の周産期医療に対する医療安全、感染対策およびチーム医療の実践に関する方策を検討する。

**<研修の位置づけ>**

- 宮崎県で展開されている周産期医療に関する地域連携および多職種連携に関する取組について学び理解を深めることで、各国の周産期医療に関する医療安全およびチーム医療の実践に関する方策を検討する機会を提供する。
- チームで取り組む周産期医療技術の向上・維持のための演習および講習会に参加し、各国での医療安全、感染対策、産科救急等に対応するためのトレーニングプログラムを作成・実践する。

**<研修の柱立て>**

- ① 各国の周産期医療における妊婦管理法（妊婦健診、母体・新生児搬送システム等）、感染対策、産科危機的出血時の対応（血液製剤供給体制を含む）の現状と課題の共有（カントリーレポート発表、意見交換）
- ② 宮崎県で展開されている周産期医療に関する地域連携および多職種連携に関する取組
- ③ チームで取り組む周産期医療技術の向上・維持のための講習会参加
- ④ 各国の事情を踏まえた周産期医療の安全およびチーム医療の実践に関する改善策（アクションプラン）の作成

**研修内容：**

- 妊婦管理法：研修および視察（助産所・1次施設、2次施設、3次施設の各医療レベルで行われている医療や母子保健支援）。母体および新生児搬送に関する意見交換（産科医、救急救命医、消防隊）および施設見学。助産師会活動や地域参加型の母子支援活動や乳幼児栄養向上プログラムに関する意見交換
- 感染対策：妊婦健診での取組および分娩周辺期の対策（血液の処理、ガウンテクニック等）に関する意見交換とシミュレーション演習
- チームで取り組む周産期医療技術の向上・維持：産科危機的出血、新生児蘇生、助産ケアに関する講習会への参加
- 周産期医療システムの普及体制や向上に向けての計画立案
- 医科学、看護学系の学生および若手医師との交流